

## 在日華人の 親子教育

前世紀の八十年代から大勢の中国人が日本にやってきて、今ではその数は百万人以上とも言われている。

彼らのうちの多くは日本という異国の土地で一生涯努力し、やっと安定した生活を手に入れた。一方で彼らは様々な悩み事を持ち、その中で一番頭の痛いことは子どもの教育という問題である。親の世代は中国で教育を受けていたため、日本の教育制度はあまり知らないという状況である。

最近、友人と一緒に「在日華人親子教育の会」を設立した。この会の目的は、親同士が日本の子ども教育の知識を交流し、在日華人が子どもを育てることに役立てることであ

る。数十人の会員はほぼ全員が子どもを持つお母さんで、自分の子の教育に関して様々な悩みを持っている。例えば、ほとんどの人は偏差値、私立と公立の区別、PTA、学校行事等について知らず、どのように子どもの教育をするかに関してあまりにも無知識である。会員の様々な質問に対して、一つのアドバイスを彼らにしてさし上げた。子どもと一緒に勉強し、一緒に進歩し、一緒に成長するということである。



在日華人のなかで子どもの教育が成功した人もいる。筆者の友人の齊さんという女性は、前世紀の九十年代に来日した。彼女は女手一つでアルバイト収入で息子を育ててきた。息子は母親の苦勞をよく知っていて、いつも勉強を頑張ってきた。高校に入るとコンビニのアルバイトをしながら常にトップの成績を維持し、高校卒業後に無事に東京大学理三類に合格した。大学時代には学業で忙しいにもかかわらず、四つの家庭教師を掛けもちし、更に研究論文まで完成し、複数回外国研究機関の招待を受けて素晴らしい論文を発表した。

いつも齊さんとその息子のことを紹介し、会員の子ども教育活動の励みになることを望んでいる。十年あるいは二十年後、我々の努力が報われる、彼らの子どもが日本社会に貢献できる人材に成長することを楽しみにしている。

お得な定期購入 **会員様募集中**

1年・6回コース **10%割引**  
半年・3回コース **5%割引**

詳細は同送チラシをご覧ください。